

Hi
ひ

平成26年7月14日発行（毎年7月・10月・12月・3月発行）

夏
第125号

あちあい

責任者 坂田 英夫 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 3951-9941 Fax. 3951-9310



落合第二地域センター
第八回開館記念イベント

6月14日(土)・15日(日)

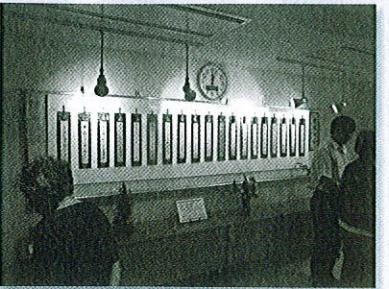
落合第二地域センター 第八回開館記念イベント

昨日までの連日の雨がピタリと止んだ快晴に恵まれて、六月十四日（土）十五日（日）に開催されました。

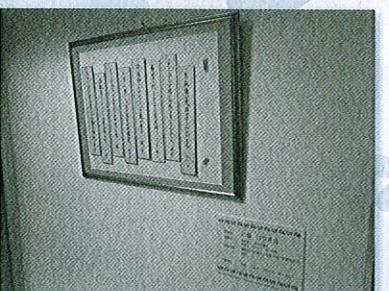
初日の式典では、中山区長を始めとする来賓を迎えての第一部セレモニーに続き、第二部のイベントでは、電節ト

リオによるタップダンスと生演奏。続いて中尾博行氏によるエレクトーン演奏は一人オーケストラの様でした。どちらへもアンコールの拍手が鳴り止まず、それぞれの演者に応えてもらい、満足感一杯のステージとなりました。

主となる展示コーナーでは、参加団体の絞り込みにより、写真の通りゆつたりとした展示スペースとなり、四つの体验コーナーも含め、落ち着いて楽しむ事が出来ました。
二日間の来場者は延べ八七〇名でした。



薰風句会



川柳 けやき会



真墨会

27年	26年	新任落合第一地域センター事務局長紹介
3月7日(土)	7月5日(土)	五月より吉田友湖事務局長が就任しました。
2月7日(土)	12月16日(土)	落合第一地域センター平成26年度行事予定
1月10日(土)	11月4日(土)	
(土)	(土)	落合第一地域センター事務局長紹介
新春日本の遊び	セントラーマツリ	
文化講演会	カラオケを楽しむ会	
カラオケを楽しむ会	料理教室	
	七夕コンサート	
	みどり土木部交通対策	
	落合保健センター	
	まくらめの会	
	新宿区更生保護女性会	
	お花くらぶ	
	落合第二地区民生委員・児童委員協議会	
	跡道 新宿道場	



タップダンス
電節トリオ



エレクトーン演奏



イベント入口



落合短歌会



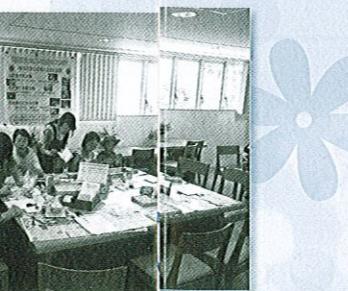
ねんど細工の会



行政相談委員会



みどり土木部交通対策



まくらめの会



戸塚警察署



新宿消防署落合出張所



フラワー みちの会



お花くらぶ



シルバー人材センター落合第二地区班



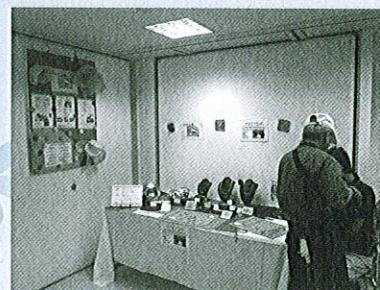
落合第二地区協議会



新婦人けやき班絵手紙



コミュニティ「おちあいあれこれ」



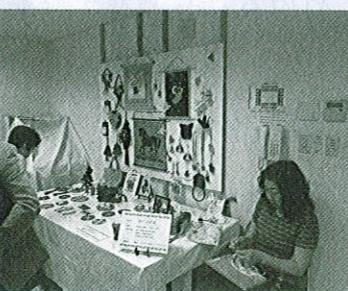
けやき荘レクの会



跡道 新宿道場



落合保健センター



新宿区更生保護女性会

◆富士山に初登頂した女性

高山辰

昔から信仰の山、修行の山として日本人を引き付けてきた富士山。今では世界遺産として世界中

から注目を集めている。この富士山に初登頂した女性が、落合にゆかりの女性であることは、案外知られていない。

その女性の名前は、高山辰。約百七十年前に、「女人禁制」の厳しかった富士山に敢然と挑戦して頂上を極めたのは二十五歳の時であった。辰の名の由来は、文化五年（一八〇八）の辰年、辰の月、辰の日、辰の刻に生まれたことにによる。

落合生まれの落合育ちの一十五歳
上落合二丁目の山手通りと早稲田通りの交差点近くに高山ビルがある。上落合地域交流館・上落合児童館がビル内にある。このビルのオーナー・高山博文さんは、高山家九代目の当主である。辰は五代前にある。辰についての記憶、遺品そのほかを博文さんは次のように語る。



落合生まれの落合育ちの一十五歳
上落合二丁目の山手通りと早稲田通りの交差点近くに高山ビルがある。上落合地域交流館・上落合児童館がビル内にある。このビルのオーナー・高山博文さんは、高山家九代目の当主である。辰は五代前にある。辰についての記憶、遺品そのほかを博文さんは次のように語る

高山博文氏
ご自宅のお稻荷様の前で



◆「落合音頭」発表会

落合音頭

一、螢名所 螢名所は 江戸の頃
皆揃つて 皆揃つて
手に团扇

※ソーレ 今も昔も 人の落合
う 情の町だヨ ヨーイヨーイ

二、乙女山とは 乙女山とは
誰が言つた

春は桜の 春は桜の艶すがた

※繰り返し

三、錦しゆう銀しゆう 錦しゆう
銀しゆうの花模様

染めて流せや 染めて流せや
川の波

※繰り返し

四、昔 忍ぶよ 昔 忍ぶよ
あの 落合銀座 並ぶ町並み

で（中落合交番の少し先）、廃止となつたゴミ集積所の処に立つて西を向くと落合第二中のグランドの大ネット際に冬の晴れた日に雪を被つた山頂部と近くの山並みまで見えました。（写真は三月六日撮影）今は空き地で某不動産会社の住宅予定地となり、開発工事が始まつてゐるのでいづれ幻の景色となつてしまふでしょ。

おまけ情報：近くの放射七
号線の歩道橋の真ん中より
やや東寄りに立つと、東に
東京スカイツリーと、西に富士
山の両日本一の頭頂部が見えます。



2014/03/09



三月十八日(火)二時間目(九時四十分～十時二十五分)落合第五小学校軽体操場で三年生による、「落合音頭」発表会を行ってきました。

「落合音頭」を題材とした総合学習で地域の人たちへの取材をした結果発表として、イラストと写真を添えて、昔の様子や落合音頭の歌詞と成り立ち、そして歌や演奏と踊りの披露、学習を終えての感想や自分たちの思いを個別発表してくれました。

戦災復興のための応援歌として作られたが、今はコミニケーションの歌として歌われているとの説明でした。

今度は夏の盆踊りでの浴衣姿で踊る子どもたちを見てみたいと思いました。

A black and white photograph showing a large, open grassy area with several mature fruit trees in the background, likely the Zenjiro persimmon garden mentioned in the text.

◆落合から富士見

春は桜の艶すがた
※繰り返し

三、錦しゆう銀しゆう 錦しゆう
銀しゆうの花模様

染めて流せや 染めて流せや

川の波

四、昔 忍ぶよ 昔 忍ぶよ

あの 萩口銀座 並ぶ町並み

※繰り返し

の披露 学習を経ての感想や自分たちの思いを個別発表してくれました。 戰災復興のための応援歌として作られたが、今はコミュニケーションの歌として歌われているとの説明でした。 今度は夏の盆踊りでの浴衣姿で踊る子どもたちを見てみたいと思いました。

看板と名札が立つて
いますので分かりま
す。

木下清之著
「居東御苑の果樹園」

新編本草綱目

性 高山辰

る。

「父の隆之から辰のことを聞いたのは、富士講に関するものが藏から見つかった頃が初めてでありますね。祖父からは何も聞いておりません。辰は福室家から嫁いできました。当時の福室家は、上落合一丁目の現在の落合水再生センターの所にありました。池のある大きなお屋敷で、雉なども飼われていたようです。高山家に伝わつていいるものに腰の高さくらいの石灯籠があります。辰が尾張徳川に奉公していましたところに関連があるようですが、辰は五人の子供を産み育てました。長男の鍋太郎は母親似で、周囲の人望も厚く、大所帯の面倒見も良かつたようです。落合村の村会議員も務めました。私の四代前に当たります。」

博文さんが言う藏から出てきた「富士講に関するもの」が辰の女性初の富士登山を記録として残しました貴重なものであつた。古文書発見の経緯から女性初登頂の周辺事情などを博文さんは次のように語る。

藏から出てきた初登頂の記録

「一九八一年ビルに建て替える前には、藏があり古文書などが所蔵されていました。新宿区歴史博物館の学芸員が調べその内多くは区の文化財として報告書に記載されましたが。ところが、その中の掛け軸、古文書、数珠の式は区とは関係ないとのことで文化財としで外れましたが、それらが富士講

の行者で思想家・小谷三志と関連があるものらしいということでした。富士講研究家の岡田博さん（埼玉県・鳩ヶ谷在住）に筆跡・内容の調査をしてもらつたのですが、三志のものに間違いないということがでした。それによつて、辰の富士山女性初登頂が明らかになつたのです」

高山家に所蔵されていた古文書の富士登山の記載は、「天保三年辰年九月二六日夜中——同行六人内女辰二五」とある。また、掛け軸は三志自筆の自画像で、その中に「男装して女人登山」と書かれています。文の結びは「辰へさづく」とある。藏の中の記録は、女人禁制の富士山へ辰が初登頂したことを見事に鮮やかに蘇らせることになつた。

身禄・三志の思想に惹かれて

辰の富士山登頂のキーワードにもなつてゐる小谷三志。彼は明和二年（一七六五）鳩ヶ谷の生まれで天保十二年（一八四一）死亡。富士講は江戸時代中期以降、富士を靈山としてあがめ信仰の対象とするもので、庶民の間で隆盛を極めた。三志はいくつもある富士講を統括する八代目の行者であつた。なお、富士登山は百六十回を数えたといふ。また勤労を尊び、四民平等や男女平等の実践的思想でもあり、あの二宮尊徳も多く影響を受けたといわれている。

三志は富士登頂を、天保三年（一八三八）「身禄」百年忌として行つた。身禄は富士講行者の先駆者ともいえる存在で、男女平等を根幹に富士の女人禁制の解禁を唱え

参考文献

岩科小一郎「富士講の歴史」（名著出版）
二〇〇〇年

竹谷鞭負「富士山と女人禁制」（岩田書院）
二〇一一年

岡田博「富士に初めて登つた女」「山と渓谷」
一九八五年四月号（山と渓谷社）

「落合の民具」一九九五年（新宿区立新宿
歴史博物館）

敬し、身禄の繼承者を志していた。その意味でも、辰はなくてはならぬ重要な女性メンバーだったわけである。

三志は登山に当たつては、綿密に計画を立てた。周囲に目立たぬよう登山者が少ない初冬を選び、富士講参詣者の案内人への説得工作などにも気を配つた。登山の様子は、三志の日記「天保三年の九月二六日の夜の様」によると概ね次のようであつた。「大雪で手がかじかみ、草鞋のひもも結ばれず。弁当も凍りついで食べられず。また、突然夏の暑さになり綿入れを脱いだりした。登山はこのような連続で難渋を極めた」。なお、同日記には、辰の何が何でも富士を極めるのだという女性初登頂への

★コミュニティスポーツ大会開催のご案内

- ◇日時 十月十九日（日）
- ◇会場 落合第五小学校
- ◇競技種目 ル投げ・ビーチボールバレー・ユニカール・ストラックアウト
- 申し込み用紙は、九月上旬に落合第二特別出張所で配布します。
- 皆さまの参加をお待ちしています。

ご挨拶



落合第二特別出張所
所長 鈴木 勝己

四月一日に異動して参りました落合第二特別出張所長の鈴木勝己と申します。これまで、建築職種として建築確認や都市計画などの業務を行つてきました。落合第二地区について、わからぬ事もあるかと思います。ご指導の程よろしくお願いいたします。

これからは、地域の皆様と一緒になつて落合第二地区が今まで以上の素晴らしい地区となるように頑張つて参ります。

第十五回 夏休み 目白研心遺跡フエスタ

まちの遺跡でまなび・あそびー

【日 時】 七月二十七日（日） 午前十時～午後四時

【会 場】 目白研心中学校・高等学校

縄文クッキーづくり教室・勾玉（まがたま）づくり教室・火おこし体験・編布（あんぎん）づくり教室・ガラス玉づくり教室・遺跡解説コーナー・七輪（しちりん）土器づくり教室・講演会など カキ氷もあります。

※内容については変更になる場合があります。

【講演会】 午後一時から

原田 昌幸 氏

（文化庁主任文化財調査官）

「縄文土偶の世界—その形の面白さ—」

※入場無料

【お問合わせ】 目白研心中学校・高等学校

電話 (5996) 3131

★民生委員・児童委員の活動

六月下旬から七月に、対象となるお宅へ子育てパンフレットを配布します。また、西落合こども園・おちごなかい子ども園・新宿こだま保育園・獅子吼保育園に絵本を送ります。

問合せ：地域福祉課福祉計画係

電話 (5273) 4080

入園・入学おめでとう！

(平成26年5月1日現在)

幼稚園	人数	小学校	人数	中学校	人数
落一幼	—	落一小	70	落合中	90
落二幼	—	落二小	52	落二中	91
落三幼	17	落三小	67		
落四幼	15	落四小	77		
落五幼	※	落五小	20		
落六幼	—	落六小	31		
計	32	計	317	計	181

※落五幼稚園は、平成24年4月より、おちごなかい子ども園

★叙勲のお知らせ

平成26年春の叙勲において、中落合三丁目辻町会会長 坂田英夫氏が、瑞宝双光章の榮誉に輝きました。

★六義園を散策しました

落合第二地区協議会「高齢者の生活を考える分科会」では、三月十七日（月）、地域の方々を対象に、健康維持を目的として歩行会を実施しました。

